

# ことばの学び



「批判的に読む」  
とは

ESSAY

脅されて文章が書けるのか 飯間浩明

特集

「批判的に読む」とは

- 情報のあり方を主体的に判断する批判的読み 吉川芳則
- 心が動き、頭をフル回転させる授業をめざして 正木友則

授業アイデア

書き手になって読む!? 批判し、評価する読み手となる  
～「間の文化」(長谷川 權)より～ 栗田柄子

Number

17

# 脅されて 文章が書けるのか

飯間浩明

さるビジネス雑誌が文章の書き方を特集していました。「頭がいい」と思わせる、バカにされない文章術」といった趣旨の見出しが表紙に躍っています。中身には、「読者に『頭がいい』と感心させるには?」「『いい人』と思われたいと読者を失う」など、記事を読む人を脅すような文言が並んでいました。

文章とは、こんなふうには脅されて書けるものでしょうか。しかも、脅している内容もなんだか変です。文章は自分を賢く見せたり、読者に好かれたりするために書くものではありません。こういうあおり方は、書き手をかえって萎縮させるものです。

文章を書く目的は「伝えたいことを、相手に納得してもらえるように伝えること」にあります。内容を整理し、順序立てて分かりやすく述べる力が文章力です。伝える訓練をおろそかにして、「頭がいいと思わせろ」「自分をいい人に見せろ」と脅すのは、指導者のすることではありません。

ところで、子どもの世界に目を転じると、

「作文が書けない」と悩む子は多くいます。当人の話を聞くと、「先生によく見られたい」「友だちに読まれて恥ずかしいことは書けない」と言います。まるで、さっきの文章術の記事を読んだかのように、内容を伝えること以外の部分で悩んでいます。

ある中学生に読書感想文の書き方を尋ねられたことがあります。課題図書を、あまり興味も湧かないままに読んだところ、やはりよく理解できなかった、でも、いくつか新しく知ったこともあった、ということでした。私は、そのことを率直に書いてはどうかとアドバイスしました。

書き上がった文章は、本人が思ったままの感想が書かれていて、なかなか読ませるものでした。学校の先生もきつと高く評価するに違いないと、私は期待しました。

ところが、実際には、その感想文の評価は高くなかったそうです。「興味が湧かなかつた」などとは書くべきでない、というのが先生の意見だったといえます。

伝えたいことを率直に書いては、いい点はもらえない、結局は先生によく見られることが大事——そんな教訓を子どもが得てしまつたとしたら、とても残念です。「こう書かなければ評価されない」とおびえながら書くのではなく、書きたいことをのびのび書いてもいい。子どもにそんな安心感を与えることこそが、指導者の役割でしょう。

## Profile

### いいま ひろあき

国語辞典編纂者。

1967年香川県高松市生まれ。早稲田大学第一文学部卒業、同大学院博士課程単位取得。『三省堂国語辞典』編集委員。主な著書に『辞書を編む』(光文社新書)、『日本語はこわくない』(PHP研究所)、『三省堂国語辞典のひみつ』(三省堂)などがある。



# 「批判的に読む」とは

## 情報のあり方を主体的に 判断する批判的読み

兵庫教育大学大学院教授 吉川芳則

とある中学校の校内研修会で、若手の先生が拙著を参考にして批判的読み（クリティカル・リーディング）を取り入れた一年生の説明的文章の研究授業をされた。授業後の研究協議会で、一人のベテランの先生から『批判的』っていうと、文句をつけるような印象があつて、授業に取り入れることには抵抗がありました。」という発言があつた。そして、

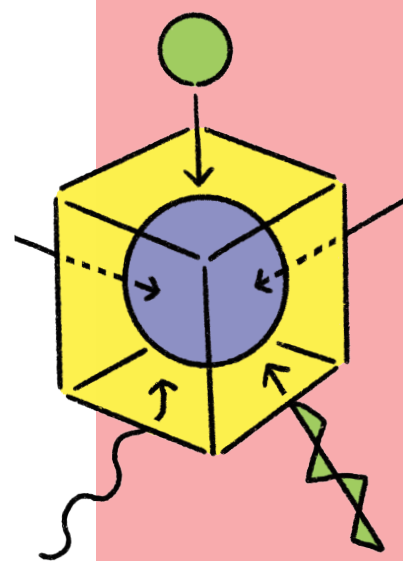
次のように続けられた。「でも、あんなに本文を食い入るように読み、表現のあり方を根拠に自分の考えを一生懸命に言おうとしている生徒たちの姿を見て、これまでの自分の説明的文章の授業とは違うものを感じました……」。

この授業では、本論で示されている三つの実験のうち最初の実験だけが具体的に書かれていないことに着目し、そのことの是非につ

いて、文章構成（論の展開）のあり方から検討するという学習活動が設定された。生徒たちは、三つの実験の内容の異同、筆者の主張との関連で、実験の記述分量のふさわしい割合を各自で考え、理由を話し合った。筆者の意図を探り、自分の考えをつくるという批判的読みが行われた授業だった。

批判的に読むとは、文句をつけたり、粗探しをしたりする読み方というのではない。書かれている事柄（情報）に主体的に対峙し、それらを自分はどうのように受けとめるのか、どのように考えるのか、自分としての価値判断をする読み方を指す。そのためには、どれくらい確からしい情報か、筆者はなぜこうした情報をこのような形で伝えているのか等、異なる観点、側面から文章を検討・吟味する読みのあり方が必要となる。

一昔前であれば、活字になっているものは権威があり、絶対的なものとする傾向があつた。しかし、これだけ多種多様な情報が氾濫している状況では、発信者はどの誰か、目



的は何か等、情報の質を問うことが欠かせない。自身や社会にとっての情報の価値を判断する批判的な読みは、誰もが身につけなければならないものとなっている。教科書の説明的文章を読む際には、そうした読みの姿勢、力を発揮できるよう導くことが求められる。

私たちは、物事や対象を一面的に捉えただけで、それらのすべてがわかったように思いがちである。しかし、これからの予測不能な時代、多面的に見ること、多角的に考えることが必須となる。批判的読みを取り入れて、未来を力強く生きることができるよう読書力、情報活用力を育てたい。

### Profile

#### きっかわ よしのり

兵庫教育大学大学院教授。国公立小学校教諭、県教育委員会指導主事を経て現職。専門は国語教育学（論理教育、説明的文章の学習指導論）。単著書に『論理的思考力を育てる！批判的読み（クリティカル・リーディング）の学習モデル』（明治図書）、『教室を知的に、楽しく！授業づくり、学級づくりの勘どころ』（三省堂）などがある。



## 心が動き、頭をフル回転させる 授業をめざして

岡山理科大学准教授 正木友則

### 「批判的な読み」ってどんな読み？

この疑問に応える教材が、令和3年度版『現代の国語3』（三省堂）に掲載されている「『批判的に読む』とは」です。一般的に「批判」という語から、否定的・攻撃的といった印象を受けることもありすが、実は、「心が動き、頭をフル回転させて、自分の考えをつくったり広げたりする読み方」であることが、この教材には書かれています。

この教材を読んだ教師のSNSへの書き込みが「バズった」（広く話題になった）ことはご存知でしょうか。この現象は、批判的思考（クリティカル・シンキング）が社会で求められる一方で、具体的な読み方として提示される教材がなかったことで起こったと考えられます。

しかし、こうした批判的な読みの授業と聞いて、どのようなことを思い浮かべるでしょうか。教科書に載っている文章なんだから、正しに決まっている……。筆者に意見なんてムリ……。筆者に「反論」や「対案」なんてとてもできません……。こうした生徒の声が聞こえてきそうです。筆者の論理展開や書き方、主張などに対して物を申すというイメージが強いと、心理的なハードルも高いでしょう。そこで、生徒にとって、批判的に読むことに挑戦する意欲と学びの手応えが得ら

れるように、「えらぶ」「ためす」ことが大切になります。

### 「批判的な読み」をうながすポイント

#### 題名読みから批判的な読みへ

「はたらきかける」「推し測る」「考えをつくる」といった読み方を、説明的文章の「題名」を切り口に考えていきます。

**はたらきかける** 新しく知ったこと／共感したこと／疑問・不思議に思ったこと

**推し測る** 筆者の話題の選択／論理展開／言葉の用い方など

**考えをつくる** 賛成・反対／わかりやすい／納得できる・できない／事例が不十分など

説明的文章ができてあがる過程（＝筆者の執筆過程）に焦点を当ててみましょう。とりわけ、筆者が題名をつけるとき、どのような思考がはたらいっているでしょうか。

題名は、文章の名前にあたるものです。

① 文章を一言でまとめた（要約）したもの

② 読者に特に伝えたい筆者の思い・メッセージ

③ 読者の興味や問いをひきおこすレトリック

筆者は①を中心にしながら、②や③を考慮し、円グラフの割合のように、そのバランスを考えながら題名つけます。

例えば、『ペンギンの防寒着』と聞いて、本文

にどのようなことが書かれていると思いますか。」と問いかけることが考えられます。こうした題名からの内容予想は、どの教材でも取り組みやすい活動です。生徒たちの予想が外れてもまったく問題なく、予想を立てながら文章に立ち向かうという体験を積み重ねることに大きな意義があります。予想が当たる／外れるといったある種のゲーム（遊び）性を織り交ぜることで、読みの構えづくりにつながります。

令和3年度版『現代の国語』掲載の教材で考えてみますと、特に一年生の教材は①の要素が強いように思います。「クジラの飲み水」「玄関扉」「意味と意図」です。このような題名では、「この文章は、『玄関扉の』について書かれている。」と題名を補足する活動を設定すると、本文全体を読むことにつながります。

二年生の教材になると、「じゃんけんは、なぜグー・チョキ・パーの三種類なのか」「人間は他の星に住むことができるのか」といった問い形式に始まり、三年生の教材の、「間の文化」「フロンの物語」などに続きます。学年が上がるにつれ、内容予測が難しくなりますが、「問」や「フロンの規制」といった「言葉」をヒントに、個人よりもペアやグループで、協同的かつ競争的に予想を立てる時間を五分だけでも設けてみましょう。生徒が「予想して読む」体験を蓄積することで、「推し測って読む」ことにつながります。

## 初発の感想も「批判的」にできる

生徒の頭が動く前に、「心の声」に耳を傾けることは、批判的な読みの準備運動になります。第一次で初めて文章と出会った「読後感」に着目します。文学作品とは異なる交流の場ができます。「読んだ感想を書きましょう。」だと、何を書くか困ってしまう生徒もいます。「はたらきかける」読み方を初発の感想でも取り入れてみましょう。例えば、ワークシートで、自分の気持ちにピッタリなものを「えらぶ」ことで、その心(理由)を記述します。

▽○○について、おもしろかった。

▽何が言いたいのだろう？ わからない……。

▽納得ができないところがある……。

感想の中でも、こうした反応とその理由を表現できれば、「なぜ、説明的文章を教室でみんなと読むのか。」の動機になります。そして、同じものを選んだ生徒どうしで、共感し合う活動をつくりまします。「今、皆さんが行っていることが『はたらきかけながら読む』ことですよ。」と、体験を価値づける機会になります。

## 「動物園でできること」で筆者の思いを推し測る

二年生の教材「動物園でできること」では、①段落から⑥段落にかけて、動物園の四つの役割(一)レクリエーション(＝楽しみ)の場の提供、(二)野生動物の保護等、(三)野生動物の調査・研究、(四)学びの場の提供)について述べられています。筆者は、「動物園でできること」は、(一)と(四)を両立

したいという願い(課題)をもっています。そして、①段落から②段落にかけて、旭山動物園における取り組みの事例を、「オランウータンの展示」↓「ペンギンの散歩」↓「エゾシカの展示」という順であげています。

②・③段落では、筆者の強い思いが感じられる文が続きます。

「野生動物の姿と行動には、どんな人でも魅了されるにちがいない。」

「感動の体験は、彼らのことをもつと知りたい、彼らの環境を守りたいという気持ちを引き起こし、動物園が『楽しみの場』であるとともに、豊かな『学びの場』となる可能性を広げてくれるにちがいない。」

「ぜひ、いろいろな動物園を何度も繰り返し訪ねてほしい。そこで大いに楽しみ大いに学んでもらいたい。」

これらの筆者の思いをふまえると、「『動物園でできること』という題名でよいのか?」という問いが生まれます。「推し測って読む」ことにつながりそうです。筆者は「なぜ、そのように書いたのだろうか?」という問いから、「そう書かなかった場合(別の例)と比べて、読者の感じ方はどう変わるか。」と考えることができます。

例えば、「なぜ、筆者は『動物園でできること』としたのでしょうか。『動物園がめざすこと』ではいけないのでしょうか?」といった問いです。▽「」がめざすこと」だと、動物園だからこそこきること、最終目的のような感じがする。

▽筆者は、動物園でできることもあるが、本当は、多くの人々に、野生動物の魅力や、自然環境について考えてほしいのではないか。

▽動物園だけでなく、テレビ番組やニュースも含めて、あらゆる手段で知ってほしいと思っているのでは?

これらの意見は、文章を眺めているだけでは得られない気づきです。

昨今では、フェイクニュースやSNS等への悪意のある書き込み、玉石混交の情報があふれ、AIチャットが質問に回答するサービスも登場しています。激動の日常生活と予測困難な未来を生きる生徒たちに、自分を守るためにも、「問い」をもちながら「考える」、「批判的に読む」体験を少しずつでも積み重ねさせたいものです。

## Profile

## まさき ともり

岡山理科大学教育学部准教授。博士(教育学)。専門は国語教育学(読むことの学習指導論)。校内研究を中心に、教師と一緒に相談しながら行う授業づくりや、授業の気づきを語り合う授業研究を大切にしている。教師の技術や子供たちの学びを言葉にして、分かち合う場をつくりたいと考えている。著書に『Chromebookでつくる中学校国語の授業』(明治図書、2022年、共著)などがある。



# 授業 アイデア

3年

書き手になって読む!?  
批判し、評価する読み手となる

「間の文化」(長谷川 權)より

静岡市立清水庵原中学校 栗田 柄子

## 授業の流れ

《全5時間／本時は第3時》

第1時

全文を読み、序論・本論・結論に分けよう。

第2時

本論の展開(空間的な間→時間的な間→心理的な間)を批判的に読もう。

第3時

本文に添えてある資料を批判する。(＝自分の意見をもつ)

展開  
1

前時を振り返り、本論の展開に込めた、  
筆者の意図を確認しよう。

展開  
2

読み手が筆者の意図を理解するために、教科書にある  
九枚の資料は有効であるかどうかを批判しよう。

## この授業について

「批判」には、「粗探しをして文句を言う」というイメージがあるが、そうではなく、「適切であるか」を吟味・評価する作業である。文章であれば、読み手が書き手の意図をくみ取り、表現者の選択が正しいかを判断することである。

「主体的に学ぶ」姿勢が求められる今、この「批判する力」は、生徒にとって身につけるべき大切なものである。そこで、本学習においてその素地を作りたいと考え、単元を構成した。

評価規準 3年生

【知識・技能】 具体と抽象、文章と資料など、情報と情報との関係について理解を深めている。(2ア)

【思考・判断・表現】 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。(Cウ)／文章を読んで考えを深めたり広げたりして、人間や社会、自然について自分の意見をもっている。(Cエ)

【主体的に学習に取り組む態度】 文章の構成や文章と資料との関係に注目して、積極的に内容を解釈し、自分の考えをまとめようとしている。



ICT活用のヒント

ヒント 1

Google Jamboard の  
共同編集機能を活用する

展開  
3

〈批判する際の観点〉

- ▼ 本文と資料との位置関係は適切か。
  - ▼ 資料が提示されている順番は適切か。
  - ▼ 資料の大きさは適切か。
  - ▼ 提示された写真の角度、素材は適切か。等
- ↓ 資料は、筆者の意図を伝えるために必要かどうか。



展開2の学習活動をふまえ、  
「自分ならばこうする」を提案しよう。

友達と意見の交換をしよう。

学習のまとめとして、筆者への提案文を書こう。

〔批判〕の意味をしっかりと捉え、よい点・改善案を提示する。〕

第5時

第4時

○ 「批判」は悪意のあることではなく、作品や意見に向き合うという点で大きな意味をもつものであると授業において再三確認してきた。本学習を通じて生徒は、活字になっている文章等に対して、「自分が意見をもってもよいのだ。」「表現された作品が絶対ではなく、読み手によって、よりよいものにすることもできるのだ。」という経験をする事ができた。

第3時のワークシートに  
書かれた生徒の意見

- 和室の写真は、襖や障子が入っていて文章に合っているが、洋室の写真は、文章にある「扉」も写して、密閉されていることがわかるものにしたほうがよい。（「空間的な間」について）
- オークストラの写真は、文中とは関係が薄いのでカットするか、もう少しアップで撮影して、たくさん楽器があることがわかるようにするとよい。楽譜の並びは、音楽に詳しくない人には意図がわかりにくい。（「時間的な間」について）
- 龍安寺の石庭の写真は、間を重んじる日本の文化を説明することにとって有効だと思う。しかし、日本庭園の写真載せるのなら、門や噴水などのたくさん物が配置された西洋の庭園も載せるとよりよいと思う。（「心理的な間」・和と洋の文化について）

写真提供：amana images, getty images

Google Jamboardに、教科書に掲載

された資料ごとのページやボードを作成し、そこに意見を書き込めるようにする。これにより、友達のを考えを閲覧でき、それに対する自分の意見を書き加えることが可能になる。この機能を活用することで、ワークシートを持ち歩いて意見交換するよりも、関わる人の幅が広がり、多くの意見に出会えると考えられる。

ヒント  
2

インターネット検索を活用する

「自分だったらこの資料を用いる」と考える資料をインターネットで検索し、友達に示すことで自分の考えに説得力をもたせることが可能になる。



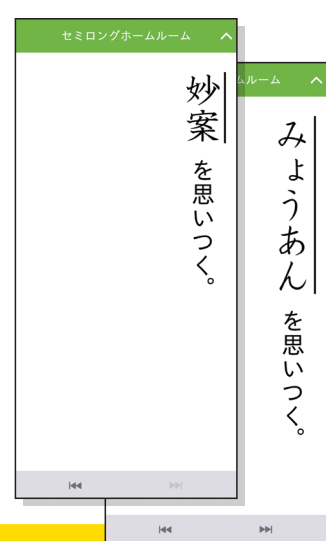
三省堂教科書・教材サイトでも、「授業アイデア」をご紹介します。



# 【完全準拠】令和3年度版『現代の国語』 漢字学習アプリ



**完全準拠**  
教科書の教材ごとに学習できます。  
各教材の newly 漢字・音訓を扱っています。



**書体**  
漢字学習に適した書体で  
字形を確認できます。



▶ 無料でご利用いただけます  
App Store からダウンロード  
Google Play で手に入れよう



## メロスにはなぜ少女に赤面するのか 「テキスト分析」でつくる文学の授業

鈴木昌弘 著

「テキスト分析」は、優れた物語がもつ「空白」を、「問」という形で顕在化させる。テキストを根拠に「解」を求める過程こそ論理的思考である。「テキスト分析」の手法で、国語の授業を力強くサポートする。

定価 2,200 円 (本体 2,000 円+税 10%)  
A5 判 / 160 頁 / 978-4-385-36518-3



### ことまな学校サポートサイトのご案内

……指導書・デジタル教科書(教材)等をご採用いただいている学校ごとの専用サイト

指導書などに付属する各種データに加え、追加の資料やワークシートなどのデータをダウンロードいただけるほか、デジタル教科書などの導入の方法の確認や、お問い合わせフォームもご利用いただけます。  
(ログインには ID とパスワードが必要です)



ことまな学校サポートサイト

株式会社 三省堂

〒102-8371 東京都千代田区麹町 5-7-2



ICT 実践事例紹介 公開中

教科書・教材サイト

<https://tb.sanseido.co.jp/>